

平成 24 年 6 月 25 日

下水道広報プラットフォーム 平成 24 年度の取り組み（案）

平成 24 年度は、会員の獲得・拡大に積極的に取り組むほか、以下の活動を行うこととする。

I. 発掘・深掘・露出

○全国各地に埋もれているネタ・リソースの発掘

○適切なターゲット（マスコミ・首長・教育界・婦人会等）への情報発信

- （例）
- ・ 広報事例の収集・共有化
 - ・ 付加価値を付けたマスコミへの発信
 - ・ G K P 広報大賞の選定

II. 場の創出（提供）

○下水道界の各プレーヤーがつながりたいと考える対象（人・情報・組織等）とつながる場の提供

- （例）
- ・ 自治体・企業と学生をつなぐリクルー的な情報交換会の開催
 - ・ マスコミ、オピニオンリーダー等の講演会・情報交換会の開催

III. 特別企画の実施

○産学官の垣根を超えた G K P ならではの新しい企画の実施

- （例）
- ・ 「下水道の日」中央行事の企画・実施
 - ・ 「下水道女性の会」（仮称）の設立
 - ・ 下水道展等の改善提案
 - ・ 「水の天使」活用行事の企画・実施
 - ・ 他業界とのコラボ企画

※その他、G K P のベースワークとして、情報共有のためのプラットフォームの構築、広報担当者交流会の開催、会員向け情報発信（メルマガ等）がある。

下水道広報プラットフォーム収支予算の考え方

I. 収入の部

1. 会費

2. 参加費の徴収

シンポジウム、交流会等の企画実施の際に、参加者から参加費を徴収する。

3. 協賛金の徴収

イベント等を実施する際に、協賛会社等から協賛金を徴収する。

4. その他

下水道協会等から支援金をいただく。

II. 支出の部

1. 会議費

資料作成費、役員・委員等旅費

2. 事業費

広報活動関係費

3. 事務諸経費

名刺、資料袋、郵便料金、銀行振込手数料等

4. その他

※これ以外に、下水道協会及び21世紀下水道を考える会協議会費用による活動がある。